

平成17年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成17年4月25日		記入者	内線	5152
部 名	学校教育部	課 名	青少年相談センター	課長名	鹿俣 克美
事務事業名	支援教室事業				
予算上の事務事業名	同上				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		14125		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します				
基本施策名	第1節 ゆとりある学校教育の創造				事業開始年度
施 策 名	第2施策 小・中学校教育の充実				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	相模原市立青少年相談センター条例 相模原市適応指導教室運営要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	▼				
5 事業概要	<p>(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)</p> <p>不登校生徒を支援するため、通室制2教室を設置し体験活動を行い、学校への復帰を図る。</p> <p>(2) 対象(誰、何)</p> <p>児童・生徒</p> <p>(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。</p> <p>通室制の2教室(「銀河」「若葉」)を設置し、不登校生徒を受け入れ学校への復帰を図る。 不登校生徒については、センター内で支援相談を実施 不登校専任相談員 6名 通室者数 84名</p>				
6 関連・類似事業や他市の状況	他市でも同様な目的で実施				
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	15,203	15,689	15,291	15,075	17,672
一般財源	14,503	14,644	14,321	14,415	17,672
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	700	1,045	970	660	0
人件費の合計	19,297	18,423	18,561	18,561	18,561
事業コスト合計(a)	34,500	34,112	33,852	33,636	36,233
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	支援教室事業			対象名称(単位)	通室者数(人)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	34,500	34,112	33,852	33,636	36,233
対象数	66	89	84	90	90
単位あたり経費(円)	522,727	383,281	403,000	373,733	402,589
前年度比		0.73	1.05	0.93	1.08

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	通室者数		指標式と指標の説明	支援教室への通室者数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	66.0	89.0	84.0			
目標	0.0	0.0	0.0	90.0	90.0	
目標達成度						
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	通室者数		指標式と指標の説明	通室者数 / 相談員数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	66.0	89.0	84.0			
目標	0.0	0.0	0.0	90.0	90.0	
目標達成度						
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	〔 〕：良好な状態を維持する事業					
	〔 〕：概ね良好な状況である事業					
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業					
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		本市の不登校児童・生徒は年々増加しており、学校復帰のための支援は不可欠であり、拡充すべき事業である。		
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 小学生支援のため、南室に教室の整備 中学生支援教室の内容の充実			14 課題として認識されたこと 南室に小学生支援のための教室を整備する場合の場所や 非常勤職員の採用			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				